

press release

20th Anniversary Renewal Open: From Children to Adults! Summer Museum/Nature's Beauty



夏らしい作品と、四季の変化を
みずみずしくあらわした
絵画・工芸の作品だけ
同時開催
心に触れる
自然の美



子どもから
大人まで!
サマーミュージアム
鉛筆一本で探検しよう!
探して、描いて、楽しむ展覧会!



リニューアル・オープン20周年記念 広島県立美術館 所蔵作品展

2016年7月13日(水)～8月28日(日)

開館時間: 9:00 - 17:00

※ 金曜日は20:00まで開館 ※ 入館は閉館の30分前まで

休館日: 月曜日

※ 特別展会期中・祝日・振替休日を除く

※ 東山魁夷展は月曜休館

入館料: 一般 510(410)円、大学生 310(250)円

高校生以下無料

縮景園との共通券: 一般 610円、大学生350円

※ ()内は20名以上の団体



- JR広島駅より約1km
- 広島城より約400m
- 市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白島線で「縮景園前」下車20m
- ひろしまめいぶる〜ぶ(市内循環バス、JR広島駅新幹線口のりば発着)「県立美術館前」下車(白島線沿い)



広島県立美術館

Hiroshima Prefectural Art Museum

【概要】

リニューアル・オープン20周年記念「子どもから大人まで！サマーミュージアム」

子どもも大人も楽しめる参加型の夏休み企画です。ワークシートを片手にエンピツ1本で作品に秘められた魅力を発掘します。鉛筆を持って、手を動かしながら作品を見てみましょう。

本展では、作品たちがもつ魅力を楽しむための様々なヒントを散りばめました。普段見るだけではなかなか気づくことのできない作品の魅力を感じていただきながら、大人も驚くような子どもたちの豊かな想像力を発掘していただければ幸いです。

【見どころ】

どこから見る？シルエットを探してみよう。

作品のまわりをぐるっと一周して、ワークシートにあるシルエットを探します。正面、横、後ろ—様々な角度から楽しむことのできる立体作品の魅力に迫ります。

なにが描いてあるかな？見つけてみよう。

当館のコレクションを代表するサルバドール・ダリ《ヴィーナスの夢》の中には、ダリが好んで描いたモチーフがたくさんあります。燃えるキリンにやわらかい時計—作品に描かれたモチーフを探しながら、ダリ作品に特徴的なダブルイメージを発見します。

どんな線？線をたどってみよう。

単純そうな線もたどってみると思いのほか複雑で難しい。ワークシートを使って、作品の線を模写します。まっすぐな線、やわらかな線—さまざまな表情をもつ線と向き合いながら、時間をかけて作品を楽しみます。

なにがかくれんぼ？生き物を探してみよう。

フロッターージュを用いて描かれたマックス・エルンスト《博物誌》には、不思議な生き物がたくさん登場しています。

作品を鑑賞しながら、フロッターージュによって生き物を描き、エルンストがどんなものを使ってフロッターージュしたのか想像します。

SUGAIのS？あなたのマークを描いてみよう。

様々な色、形、線をもつ菅井汲のSシリーズ。一つのモチーフを自由に展開した本作をヒントにしながら、自分のイニシャルをモチーフに自分のマークを考えます。

土から生まれた作品たち！たくさん想像してみよう。

オブジェ焼とも呼ばれ、これまでの陶芸に対する考え方にとらわれない新しい表現に挑戦した走泥社の作家たち。作品が動いたら—作品を鑑賞しながら、その様子を言葉にし、作品から自由に想像する楽しさを体感します。

※上記、展覧会構成に加えて、特別展示として平山郁夫《広島生変図》を展示します。



ジュリオ・ゴンザレス《人物(鏡の前の女)》
1934年、ブロンズ



ワシリー・カンディンスキー《小さな世界》
1922年、紙・木版・リトグラフ・ドライポイント

【概要】

リニューアル・オープン20周年記念「心に触れる自然の美」

四季の区別が明瞭な日本では、人々は自ずから季節の変化を身に受けて育ち、長じて作家となった人々もまた、表現の対象を自然のうちに求め、季節の情趣を作品に込めて制作することが少なくありません。

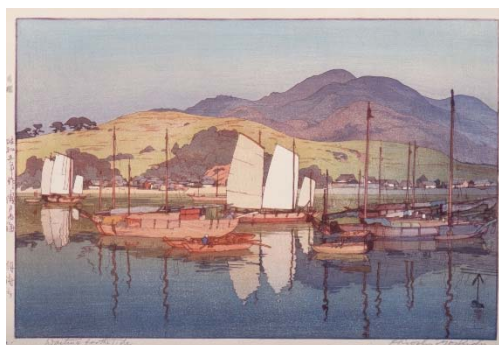
このたびの企画では、絵画と工芸の各ジャンルから、「夏」にふさわしい作品を中心に、四季の変化を心にとめてみずみずしく表現した日本人作家の作品、さらには独自の世界観を自然の造形に託したアジアの金工品まで幅広くご紹介します。

自然の現象や季節の移ろいを情感豊かにつづった作品を通じ、現代の私たちの心の奥底に触れる多彩な自然の美をどうぞごゆっくりご鑑賞ください。

【見どころ】

水辺の情景

川や海辺を描いた風景は、水の恵みが豊かな日本において、親しみ深い絵画主題の一つと言えるでしょう。このたびは、13人の作家による多彩な水辺の表現をご紹介します。堅実な構図と写実的描写により、眺望のきく開放的な眺めを伸びやかに描いた宋紫石や、躍動的な風や波の表現で、夕立迫る波乱のときを伝える児玉希望。木版画では、光の反映を丹念に見つめて瀬戸内の水辺を爽やかに表現した吉田博。南薫造や小林和作らの作品に見る、ときに軽快でときに力強い水彩表現も必見です。個々の描画材の持ち味にも注目しつつ、日本画やパステル、水彩、版画といった多様な絵画の水辺で、心癒うひとときをお楽しみください。



吉田博 《瀬戸内海集 第二「潮待ち」》
1930(昭和5)年、木版・紙

夏の装い・夏の暮らし

夏の日常には、暑さを避けて涼しく過ごす装いや調度がある一方、陽射しや暑熱を生かした行事や習わしも見ることが出来ます。展示作品に見る、海辺の日陰で静かに時を過ごす人々や、ハンモックで風を楽しむ子ども、あるいは湯上りの浴衣の女性像などが、涼を求めた夏の暮らしとすれば、庭先に書物を広げた室内を描く《曝書》もまた、暑さを生かして虫干しを行う夏ならではの情景です。夏の装いや暮らしを描いた作品を通じ、過去の日本の夏の過ごし方に思いを馳せてその風情を味わってみるのも、この季節の楽しみの一つといえるのではないのでしょうか。

工芸に表された自然～四季の美と森羅万象の美～

季節の変化に富み、美しい自然に恵まれた日本では、四季折々の身近な自然が工芸作品の意匠に取り入れられてきました。実物と見まがうような植物や昆虫などの装飾により、掌中や室内に季節感を持ち込む三代金城・国斎の高盛絵(漆のレリーフ)など、今期の第四展示室では四季の美を表す作品や、涼やかな水辺といった夏らしい主題の作品を中心に御紹介します。あわせて、雄大な自然への感銘も創作の大きな源泉であり、海・空・星・気象など森羅万象を主題とする作品や、自然の景観を観察することにより深められた信仰心や精神世界を表現した、トルクメンジュエリーを展示しています。



柳原睦夫 《空の力学》
1976(昭和51)年、陶

press release

【関連イベント】

※都合により展示内容やイベント内容に変更が生じる場合があります。

友の会ボランティアガイド

当館友の会ボランティアガイドが所蔵作品展についてわかりやすく解説します。

日時: 平日14:00~/土日祝11:00~/、14:00~/ (1時間程度)

場所: 2階展示室

参加料: 無料

※要入館券(高校生以下無料)、申込不要

ワークショップ

コレクションを描いてみよう♪スペシャル「SUGAIのS? あなたのイニシャルをデザインしてみよう。」

「子どもから大人まで! サマーミュージアム」に展示する菅井汲の作品をヒントに自分のイニシャルをデザインしてみよう!

日時: 7月31日(日)10:00-12:00

講師: 大前洋和(グラフィックデザイナー)、山本恵子(当館指定管理者学芸員)

受付: 2階ロビー 会場: 2階展示室、2階ロビー

対象: 4歳~中学生 料金: 各回500円 定員: 各回20名

※すでに定員に達したため、受付は終了しております。

※当日の見学、取材などご希望があれば問い合わせ先までご連絡ください。

【媒体掲載用の画像提供について】

※いかなる場合も本プレスリリースからの転用はご遠慮ください。

※都合により出品作品が異なる場合がございます。ご了承ください。

※画像については提供が可能です。ご掲載の際に画像がご入り用の場合は、当館までお問い合わせください。

※画像掲載の際には、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に当館までご提出いただき、1週間程度お時間を頂戴いたします。ご了承ください。

問い合わせ先

広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22

TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444

E-mail. ke.yamamoto@nomura-g.jp (山本宛)

担当 学芸課 藤崎 綾、山下 寿水

事業推進課 山本恵子